

～世界はひとつ、心を繋ごう～



新年の集い-New Year Party-



日本語教室で新年会！

ごあいさつ

渋川市国際交流協会 会長 町田 久

会員の皆様におかれましては、日頃より本協会の運営にご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

昨今、世界情勢は緊迫を増し、国と国との関係が複雑化する中で、私たちの活動の重要性は一層高まっています。国際交流は、異なる文化や価値観を理解し合うための架け橋であり、私たちの社会においても、外国人と日本人が共に生活し、共生するための基盤を築くものです。この冊子には、私たちが実施した様々なイベントの記録が収められており、参加者の皆様の笑顔や交流の様子が思い起こされます。

私たちの協会が実施した日本語教室や書道体験イベントは、外国人の皆様が日本語や日本文化を理解するための重要なステップとなりました。特に、書道を通じて日本の美しい文化に触れることができたことは、参加者にとって大変意義深い経験であったと感じております。また、バーベキュー交流会や新年会では、日本人と外国人が共に食事を楽しみ、笑顔を交わしながら親睦を深めることができました。これらの交流の場は、異なる文化を持つ者同士が理解し合い、心を通わせる貴重な機会であり、私たちの活動の根幹を成すものであります。

さらに、在モーリタニア大使による国際理解講座や、タイ出身の講師を招いたタイ料理教室は、日本人が外国への理解を深めるための素晴らしい機会となりました。異文化に触れることで、私たち自身の視野が広がり、より豊かな社会を築くための一助となることを願っております。

私たちの活動は、単なる文化交流にとどまらず、相互理解を深めるための重要なステップであると考えています。互いが心を通わせることで私たちの社会はより豊かになり、多様性を受け入れる力を育むことができます。これからも、皆様と共に新たな挑戦を続け、国際交流の輪を広げていく所存です。

そのためには、会員の皆様、協会ボランティアの皆様力が不可欠でありますので、引き続き変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

目次 Contents

- p.1 表紙
- p.2～4 イベント報告
- p.5 日本語教育講座報告
- p.6～7 Face to Face(市内ALT(外国人指導助手)紹介)
- p.8 お知らせ

○協会員を随時募集しています。

→ 詳細は8ページをご覧ください。

2025年度イベント報告

実施事業について、活動の様子をお伝えします。

10/25 土 バーベキュー交流会 ● 渋川市総合公園

今年度もバーベキュー交流会を開催しました。老若男女、国籍問わず多くの方々にご参加いただきました。小雨の中での開催となりましたが、レクリエーションで盛り上がった後に、バーベキューで皆様お腹いっぱいになりました。



バーベキューを満喫

みんなでラジオ体操



ボールでだるまさんが転んだ



バーベキュー交流会集合写真

じゃんけん電車



1/24 土 新年の集い—New Year Party— ● 中央公民館

立食ランチも楽しめる新年パーティーを今年度も開催しました。立食ランチでは、お寿司や焼きそば、ちらし寿司を食べました。参加者のステージ発表では、出身国の歌をカラオケで披露したり、二胡による演奏があり、いろいろな他国の文化に触れました。最後はビンゴ大会も行われ、大変盛り上がりました。



上毛カルタで真剣勝負



みんなでカラオケ



新年の集い集合写真



豆つまみ難しい



二胡演奏



立食ランチ

5/21 水 国際理解講座
● 渋川ほっとプラザ

在モーリタニア日本国大使館 特命全権大使の内田立国さんを講師とし、国際理解講座を開催しました。
 渋川市のホストタウンであるモーリタニアについて、外務省の業務や外交に関する話を交えながら、分かりやすく紹介いただきました。35名の方にご参加いただきました。

参加者の声

- ・モーリタニアについていろいろ知ることができました。国際理解をするために、こうした講座の機会があれば参加したいと思います。
- ・タコシカ知らない国でしたが、意外と思ったのは、イスラム国なのに幅があるということです。
- ・現地を知る生の声が聞けて勉強になりました。ありがとうございました。



モーリタニアについて丁寧に説明いただきました

11/29 土 外国人のための日本文化教室
● 中央公民館

外国人住民を対象に、日本について詳しく知ってもらうために日本文化体験教室を開催しました。今回は、当協会日本語教室のボランティア講師をお招きして、習字をご教授いただき、6名の外国人が体験しました。



ペンの持ち方から学びます



上手に書けました



一筆入魂!

2/28 土 **タイ家庭料理教室**
● 中央公民館

タイ出身の加藤チャラーシーさんに本場のタイ家庭料理を教えてくださいました。

ピリ辛に味付けされた豚肉とバジルが良く合う国民的料理のガバオライス、タイの屋台ではおなじみのバナナのココナッツミルク煮がとても美味しくできました。

調理後は出来たての料理をみんなで食べながら、タイについて先生に質問し、大変充実した時間を過ごすことができました。



真剣に聞いています



バナナを煮るんです



ガバオライスとバナナのココナッツミルク煮



協力して作ります



美食タイム



みんなで集合写真

日本語教室 中央公民館

昼の部(10:00～11:30)夜の部(19:00～20:30)
5月～3月 毎週火曜日(全35回)

在住外国人の方が生活で使う日本語を学ぶため、日本語教室(昼の部・夜の部)を毎週火曜日に中央公民館で開催しました。講師は日本語教師ボランティアとしてご登録いただいた方々です。少人数で勉強を進め、それぞれが勉強したい内容に応じて丁寧に指導していただきました。

日本語を基礎から学ぶために参加された方も、日本語能力試験(JLPT)合格を目標に参加された方もそれぞれの目標に向け前進することのできた教室になりました。

日本語ボランティアの皆様、受講生の皆様、一年間ありがとうございました。



コマンさんと村山先生



カデイクさんと須田先生

日本語教室受講生 コマン プチアスタワンさん

はじめまして。私の名前は、コマン・プチアスタワンといいます。インドネシアのセレベツからきました。セレベツは、一年中28℃から30℃くらいです。日本にきて思ったことは、とても暑いかとても寒いということです。日本にきて食べたものとしては、ラーメンとカレーをととても美味しく感じました。

私は日本語をもっと上手に話せるようになりたいと思い、日本語教室に通うようになりました。仕事はとても楽しいですが、日本語を使う機会が多いので、もっとスムーズにコミュニケーションができるようになりたいです。

日本語の勉強で一番楽しいことは、新しい単語を学べることや先生や新しい人たちと出会い、日本語で話せるようになっていけることです。一方で、一番難しいと感じることは、漢字です。漢字の形は好きですが、書き順を覚えるのが難しいです。たくさん書いて覚えるようにしています。日本語を覚えるのは大変ですが、これからも日本語の上達を目指して、勉強を続けていきたいです。

日本語教室受講生 カデイク アデイスアルサナさん

2017年5月に初めてインドネシアから日本の進んだ養豚技術、繁殖や病気の管理方法を学びたいと群馬にきました。

日本で技術を学ぶには、インドネシア政府の選抜テスト合格後、約1か月合宿研修し、日本語試験に合格の必要がありました。

私は朝7時から夜10時頃まで毎日勉強し、食事の時も日本人先生の近くで文化、マナー等をなるべく多く日本語で話す努力をしました。おかげで試験は70人中1番でした。テストに受からなければ次の年になります。

「失敗を恐れず大変なことに挑戦し、経験から学ぶ意欲さえあれば何でも出来ます。目標を達成するために努力や労力を惜しみません。人生で悲しい事、落ち込んだ時があっても、良い方向に進み心の安定を得られると信じています。」

今は親切な家族経営の会社で研修しています。養豚の他に野菜も色々育てています。群馬は東京に近く、温泉もあり、スキーも楽しめます。焼きまんじゅうも大好きです。

渋川では自分の村にいるような気分になります。日本の文化とバリの文化は少し似ているところがあります。だからなおさらバリ島の遠く離れた故郷の家族が思い出され恋しく、ホームシックになるのだらうと思います。私のバリ島の家族は農場や畑を経営しているので、その農場を質の良い先進的な経営にしていきたいと考えています。

日本語教師ボランティア 須田 政子さん

私達は4人でインドネシア出身の4人を教えています。私はバリ島出身のカデイクさんの担当です。彼は日本語能力試験N4は受かり、N3を目指しています。養豚技術研修中ですが、日本の養豚者にも必要とされるレベルの高い養豚特別技術資格も持っています。

今日の日本の養豚は、高度な技術が導入され清潔で自動システム化されています。その中でも「養殖、病気の管理は高い知識と経験が必要だ。」とカデイクさんは話します。

私たちがスーパーで何気なく買っている畜産物にこのような目に見えない努力を日々している方々がいるのだと今更ながら感謝せずにはられません。

カデイクさんはリーダー的な存在で、英語も流暢なので、インドネシアからの後輩の日本語学習者にインドネシア語の通訳だけでなく、文化や本人の様々な経験も交えて楽しく私達にも話してくださるのでとても学ぶことが多いです。

カデイクさん始め、私達が受け持つインドネシアの研修生はとても真面目で、しっかりした人間性を持っているので、研修先の会社の方々からも期待されています。

最近ではニュースで外国人問題が度々話題になっていますが、「私達は自分の出来る精一杯の努力をし、その国のマナー、法律を守り互いに尊敬し合いついていく。どの国にも悪いことをする人はいない。」とカデイクさん。

カデイクさんの目指すN3はスマホやパソコンに頼った毎日を送る私にとって時々迷う問題が多々あります。私達日本語ボランティアは皆「教える事は学ぶ事」を実感しているのではないのでしょうか？

日本語教師ボランティア 村山 薫さん

私は、2025年6月から日本語教室講座のボランティアとして、日本語を教えています。夜7時から8時半まで、インドネシアの方を4名のボランティアで担当しています。受講生は、様々な国の方がいます。私が担当するインドネシアの方々は、養豚場で研修しています。仕事を終え疲れているだろうに、そんな表情も見せずに「こんばんは。」と元気な姿で、教室に入ってきます。

日本語教室に参加したきっかけは、広報しぶかわで日本語教師の募集を目にしたことです。以前から色々な国の方と交流して、国柄・言語・生活様式など知りたいと思っていました。また、在住外国人の方に何か協力できることがあればと考えていました。

受講生の中で日本語検定の取得を目指している方もいます。一生懸命に、日本語を学ぼうとする姿勢をすごく感じています。ボランティアの諸先輩方に指導をいただきながら、受講生の方に日本語を教えています。私も日本語を教える中で、インドネシアの社会背景・言語・生活様式などを学んでいます。まずは、「スマラ・ラマン」(こんばんは)の挨拶から始めてみようと思っています。

教室では、複数の教材や翻訳アプリなどを使いながら日本語の学習をしています。単語ひとつにしても、言葉の意味を理解できたときには、とても嬉しい気持ちになります。日本語教室に参加してから半年くらいですが、これからも受講生の皆さんと共に、楽しく学び合える時間を共有できたらと思っています。



Face to Face

紹介

ALT(外国語指導助手)

デービッド・スペンサーさん

【アメリカ合衆国出身】

応募が受理され、面接も通過しました。そして、忙しい準備も済ませることができました。引っ越し前の一ヶ月間は、書類手続きと打合せ、心温まる別れでいっぱい、現実というより夢のような時間で過ぎていきました。そしてついに、飛行機と電車と自動車を乗り継ぎ、群馬県渋川市のアパートで目が覚めました。

私はカメレオンのような人間だといわれます。なぜならば、必要であるときに、周りの環境に溶け込むことができるからです。ホノルルや大阪といった大都会や、クラークスのような小さい村にも住んだことがあります。しかし、ホームシックにならないという意味ではありません。そのように感じた時は、ホームタウンと今住んでいるところの共通点や違う点について考えます。

もし私が、故郷であるアメリカのネブラスカ州クラークスと渋川が似ていると言ったら、信じられないかもし

このコーナーでは、渋川市内及び近隣市町村で生活する外国人を紹介しています。

今回は市内小中学校でALT(外国語指導助手)をしているデービッド・スペンサーさん【アメリカ合衆国出身】とクリストファー・ドナルド・ボールーさん【カナダ出身】の2名を紹介いたします。

れませんが、正直に言いますと、日々、共通点が多くあるを感じています。明らかな点としては、(車が必要だ!)。より微妙な共通点としては、(食料品以上に必要なものがありますか?市外のモールに行った方がいいです)。もちろん、違う点もいっぱいあります。言語の違いを考慮しなくても、生活は違うでしょう。日本はアメリカより現金中心の社会です。そして、渋川市はかなり静かです(でも良い面としては、運転者はずっと優しいですね!)

結局のところ、共通点も異なる点も(いっぱい)ありますが、私は起こったことをあるがまま受け入れています。利根川沿いの、静かで絵のように美しい場所で日本語を勉強して、渋川内外にある数多くの穴場で、人生を変えるほどおいしいラーメンを食べて、ホームシックや悲しい気持ちになったら、顔なじみの渋川の人に頼れば、元気になることを分かっています。



東京で友達とお花見



奈良でシカを撫でます



北海道の雪まつりで

My application was accepted. I passed the interview. And I survived the whirlwind of preparation. The month before I made the move - a month full of paperwork, meetings, and heartfelt goodbyes - felt closer to dream than reality. And finally, after riding a train, plane, and automobile, I awoke in an apartment in Shibukawa City, in Gunma Prefecture.

I've been told I'm a bit like a chameleon - When needed, I can blend in to my surroundings. I have lived in big cities like Honolulu and Osaka, along with villages like Clarks. But while this is true, I still get homesick like anyone else. And when I am homesick, I like to think about the similarities - and differences - between where I live and my hometowns.

If I said Shibukawa resembled my small hometown of Clarks, Nebraska, USA, it may sound hard to

believe. But to be honest, every day I see more similarities. From the obvious (you'll need a car to get around!) to the more subtle parallels (You need anything more specific than "groceries"? You should head to the mall the next town over.) Of course, there are many differences as well. Even if you do not look at the language differences, things just work differently here. Japan is a lot more cash based than the US. The city feels a lot quieter. (But on the bright side, drivers are a lot nicer!)

In the end, many things are the same, many things are different, and I take it as it comes. I find a quiet, picturesque spot along the Tone river to study Japanese, I devour a life changing bowl of ramen from the numerous hole-in-the-wall shops within and without Shibukawa, and if I ever feel homesick or down, I know I can rely on a friendly face to lift my spirits.



Face to Face

紹介

ALT(外国語指導助手)

クリストファー・ドナルド・ボールーさん

[カナダ出身]

もう5年も経ったのでしょうか？カナダからの飛行機を降りたのが、つい昨日のこのようです。2021年9月、新型コロナウイルスのパンデミックがピークを迎え、人生において非常に混沌とした時期でした。渋川については全く知りませんでした。以前、カナダの静かな町に住んでいたことがあり、同じような場所だろうと思っていました。ところが、実際は日本の秘境に足を踏み入れたのです。

生徒や友人に渋川や群馬の魅力を尋ねると、彼らはいつも同じ答えを返してくれます。草津温泉や伊香保温泉、水沢のような神社やお寺を挙げるでしょう。赤城山や榛名山といった美しい自然についてもよく話してくれます。水沢うどんや焼きまんじゅうを挙げる人もいます。しかし、私にとって群馬を素晴らしい場所に行っているのは、そこに住む人々です。近所の人々、友人、同僚からもらった思いやり、そしてオープンな心は、本当に他に

類を見ないものです。日本に来る前は、ただのよそ者扱いされ、信用されず、距離を置かれるのではないかと不安でした。この国に居場所があると感じられないのではないかと。でも、今となっては全くの思い違いでした。

私は教師一家に生まれ、反抗的な子供だったため、教師になることを恐れていました。日本で教師を始めてからは、もう教師以外の仕事は考えられません。これまで様々な仕事を体験してきましたが、仕事はいつも退屈なものだと思っていました。人生で初めて、月曜日の仕事が楽しみになりました。生徒たちや同僚からの喜びと支えは決して忘れません。

私は1年間だけ日本に滞在するつもりで来ました。時間が経つのが早く、「あと1年だけでもいいかな」といつも自分に言い聞かせていました。故郷のバンクーバーは大好きですが、渋川はいつまでも私の一番の故郷です。素晴らしい5年間をありがとうございました。



榛名山2021



水上スキー2022



へそ祭り2023



珊瑚寺の桜2024

Has it really been five years already? It seems like only yesterday that I stepped off the plane from Canada. I first arrived in September of 2021 during the height of the COVID pandemic, a very chaotic time of life. I knew nothing about Shibukawa. I had lived in a quiet town in Canada before, and expected it to be more of the same. Instead, I found myself in Japan's best kept secret.

When I ask my students and friends what makes Shibukawa and Gunma special they will point to the usual answers. They will say Kusatsu and Ikaho Onsens, or shrines and temples such as Mizusawa. They often talk about the beautiful nature of places like Akagi or Haruna. They might mention mizusawa udon or yakimanju. I enjoyed exploring all of them during my time here. But for me, what makes Gunma such a great place is its people. The kindness, consideration, and openness displayed to me by neighbors, friends, and coworkers is truly unmatched.

Before coming to Japan I feared that I would be treated as just another outsider, mistrusted and kept at distance. I feared that I would never feel like I belonged here. I am glad to say that I couldn't have been more wrong.

I come from a family of teachers, and as a rebellious child dreaded becoming one myself. After I started teaching here, I don't think I want to do anything else. I had worked many different jobs, and assumed that work was always tedious. For the first time in my life, I looked forward to work on Mondays. I will never forget the joy and support from my students and coworkers.

I came to Japan planning on staying only one year. As time flew by, I always said to myself "Maybe just one more." I love my hometown of Vancouver, but Shibukawa will always be my number one. Thank you for five wonderful years.

外国人のための相談事業

外国人やその家族の方が、生活の中で困ったことがあるとき、無料で相談できます。電話や対面のほか、安心して家で相談できるよう、新たにオンライン会議システム(ZOOM)を利用した相談を始めました。(オンライン相談のみ予約が必要です。)

○外国人生活相談○

【相談日時】

毎週木曜日 午後1時～3時

【場 所】

渋川市役所2階(渋川市石原80)

【対 応 者】

ダニエラ マウゼル 相談員【ルーマニア出身】

【対応可能言語】

英語、イタリア語、ルーマニア語、日本語



「広報しぶかわ」またはウェブサイトで、開催日時を事前にご確認ください。

月刊情報紙「しぶかわカレント」

在住外国人向けにお知らせやイベントを紹介する英語の情報紙「しぶかわカレントSHIBUKAWA CURRENT」を毎月発行しています。

協会ホームページで閲覧できるほか、市公式LINEで配信しています。市役所本庁舎や各行政センター等で配布しています。



●●会員・ボランティア募集●●

●ボランティア募集●

協会運営をお手伝いしていただけるボランティアの方を随時募集しています。

得意な語学や経験、特技などをいかしてみませんか。

・イベントボランティア

協会のイベントの企画・運営にご協力いただける方

・日本語教師ボランティア

外国人の方に対し、日本語学習の指導にご協力いただける方

・通訳・翻訳ボランティア

外国語の通訳・翻訳をお願いできる方

・日本文化紹介

外国人の方に、日本文化や伝統芸能を紹介していただける方

●●会員特典●●

- ① イベント・講座の参加費が割安になります！
- ② 各刊行物、イベント案内チラシ等が届きます！

詳しくは協会事務局まで！

お気軽にお電話・メール・窓口まで！

●● 情報 ●●

外国人登録者数

渋川市には、2026年2月末日現在、33か国籍1,485人(男690人 女795人)の方々が外国人登録をしています。

●●会員募集●●

当協会の趣旨にご賛同いただける方を随時募集しています。

年会費(一口)	個人会員	1,000円
	団体会員	5,000円
	法人会員	10,000円

外国人生活相談員より

この1年間、私は外国人住民、特に日本語でのコミュニケーションに自信のない方々が行政手続きや暮らしの中で困ったことを乗り越えられるよう、情報提供、質問への回答、アドバイスなどを通じてサポートしてきました。また、必要に応じて、市役所の適切な部署に同行し、職員の説明を理解してもらったり、外部の機関や役立つリソースを紹介したりして、問題の解決に努めました。

日常生活の情報やアドバイスに加え、渋川市に住む・働く・通学する外国人の皆様が、言語の違いによって機会を逃すことなく、地域のコミュニティのイベントや活動に溶け込み、参加できるようにすることを目指しています。

私自身、来日当初は日本語でうまく会話ができなかつたり、必要な情報が入手できなかつたりと不安な気持ちを抱えていました。だからこそ、皆様の気持ちはよく分かります。皆様の課題解決をサポートしたいと思っています。

生活、仕事、教育など、何かお困りのことがあれば、いつでもご相談ください。信頼関係に基づいた繋がりを大切に、親身に対応いたします。

これからも、新年の集いやバーベキュー交流会など、当協会が外国人住民のために開催するイベントに楽しく参加させていただき、次回のイベントで皆様にお会いできるのを楽しみにしています。